

港湾緑地の使い方をみんなで考える意見交換会 開催報告

- 国土交通省港湾局では、みなとの賑わい空間の創出を促進するため、令和4年12月に創設した“みなと緑地 PPP”を活用したプロジェクトを具体化する取組として、民間事業者・港湾管理者との意見交換会を各地で開催しています。
- 令和6年12月26日、第5回目となる意見交換会をCreation Camp TENNOZ(寺田倉庫)で開催し、約180名が参加しました。(「港湾緑地の使い方をみんなで考える意見交換会」)
- 今回の意見交換会では、全国港湾管理者によるみなと緑地の紹介や、スタートアップ企業の視点から港湾緑地の利活用についてのアイデアを提案頂き、港湾緑地が持つ多様な可能性について考える意見交換を実施しました。

【港湾緑地の使い方をみんなで考える意見交換会】

- 日時:令和6年12月26日(木)13:00~17:45
- 場所:Creation Camp TENNOZ(寺田倉庫)
- 参加者:183名(民間事業者、港湾管理者等)(Web参加含む)
- 現地視察(13:00~14:00)
- 意見交換会(14:30~17:45)

【議事】

- (1)挨拶
- (2)制度概要、取組事例の紹介、Creation Camp TENNOZの紹介
- (3)全国港湾管理者によるみなと緑地の紹介(10者)
 - ・平良港(トゥリバー海浜公園)
 - ・那覇港(浦添ふ頭東緑地等)
 - ・鹿児島港(本港区エリア)
 - ・佐世保港(浦頭緑地)
 - ・下関港(あるかぽーと親水緑地)
 - ・川崎港(水江町緑地等)
 - ・土浦港・茨城港(大洗港区等)
 - ・苅田港(苅田港緑地公園等)
 - ・名古屋港(堀止緑地等)
 - ・小名浜港(剣浜地区等)
- (4)スタートアップ目線からのみなと緑地の使い方の提案(5者)
 - ・株式会社JOYCLE(小型のゴミ処理プラントの設置を核とした環境・地域貢献 など)
 - ・Mobility Dock合同会社(自動車整備士の魅力向上につながる整備工場や整備時間の有効活用 など)
 - ・KNOTTER(組立型のコンテナハウスを活用した賑わい施設建設の初期投資軽減 など)
 - ・OIKOS MUSIC株式会社(簡易に設置できるスクリーンを活用したイベントの開催 など)
 - ・株式会社MAGUS(アートを核とした賑わい創出(山下埠頭での事例紹介) など)

【現地視察(天王洲アイル第三水辺広場の様子)】



【意見交換会の様子】

